



Taipei Innovative Textile Application Show TITAS 2023

台北紡織展



台湾で唯一にして最大規模を誇る繊維製品総合見本市「第27回台北紡織展（TITAS 2023）」が、昨年10月17日から19日までの三日間、台湾・台北市の台北世界貿易センター南港展覽館で開催された。主催者は、中華民国紡織業拓展会および中華民国対外貿易発展協会。

台北紡織展は1997年の初開催以来、今回で27回目となり、台湾のほかアメリカ、ドイツ、イタリア、スイス、スウェーデン、日本、韓国、インド、中国本土、香港など11か国・地域から381社が952ブースで出展。出展者数は昨年と比較して3.8%増加し、ブース数も6%増加となった。

3日間の会期中、欧米のスポーツ、アウトドアブランドを中心に15か国・地域から、71以上の国際ブランドの3万5000人以上のバイヤーが来場。主催者によると、控えめに見積もっても約4700万米ドルのビジネスチャンスを出したという。

※ ※ ※

今回の台北紡織展では、「革新的持続可能性」、「機能性素材」、「IoTデジタル技術」の3つの中核テーマにフォーカスし、台湾紡績産

業の研究開発成果を紹介していた。

サステナビリティについては、排水量やエネルギー消費量を削減すべく、ココア糸、パイナップル繊維糸などの農業廃棄物のリサイクル。非食用トウモロコシ、蔗糖、ヒマシ油などの植物由来のバイオファイバー。廃タイヤのリサイクル。ナイロン、衣料品、布地、原材料のリサイクルと再生産。漁網と牡蠣ロープのリサイクル。水なし染色や低温染色など革新的なテキスタイルを発表した。

機能性素材では、水性防水透湿膜、高効率消臭ポリエステル繊維、機能性グラフェンなど、快適性、健康、レジャー、スポーツ、安全、保護、医療における機能性素材の数々を出展した。

IoTデジタル技術では、台湾の繊維機械メーカーがRFID糸、AI布検査機、自動校正機、デジタルインクジェット印刷機、データコントロールセンター、高解像度印刷技術、インテリジェント製織など、自動化、データ分析、人工知能のソリューションを提案した。

その他、メイנסテージでは、「サステナブルファッションショー」や新製品発表会などのダイナミックなショーも行われた。





次回

台北紡織展 TITAS2024

2024年10月15～17日開催決定
台北世界貿易センター南港展覽館で

賴清德中華民國副總統が開会式に出席し、会場を視察した

パンテキスタイル フェア

OSAKA 2023

コロナ前の活況が復活



台湾 紡拓會（財団法人中華民
國紡織業拓展會）は10月25日と26
日の2日間、大阪市中央区の大阪
マーチャンダイズ・マートビル（O
MMビル）において、台湾テキス
タイルメーカーの素材を紹介する
展示商談会「パンテキスタイル
フェアOSAKA2023」を開
催した。

今回の出展社数は52社。新型コ
ロナウイルス感染症の拡大で20
20年から規模を縮小し、サンプ
ル展示とオンライン商談による無
人展示会を余儀なくされていた
が、前回の2022年から3年ぶ
りにリアル展開催を再開。出展社
数はコロナ前と同水準まで回復
し、会場を訪れたバイヤーも増え、

活況を呈した。

台湾のテキスタイル企業は、環
境意識が高い欧米企業との取引が
長いこともあって機能性素材の技
術開発力が高く、サステナブル素
材に様々な機能性を付与して提供
できることを強みとしている。

出展企業を見ていくと、常連の
遠東新世紀股份有限公司では、自
社でペットボトルを再生するリサ
イクルポリエステル繊維を使った
工業用糸とテキスタイルを出展。
宏遠興業股份有限公司では、形状
記憶機能を備えたポリエステル製
の先染めメカニカルストレッチ織
物をファッショ素材として提
案。達歩施企業股份有限公司では、
クールマックスなど接触冷感素材
によるニットデニム。

佳紡國際貿易有限公
司では、カカオの殻
由来のポリエステル
素材など。その他、
カジュアルからス
ポーツ、アウトドア、
ユニフォーム向けに、
それぞれが得意とす
る機能性素材の数々
を披露していた。